

新潟県中越大震災における新潟市の対応

(1) 新潟市の本部体制

新潟市で震度 4 以上を観測した地震

期日	時間	マグニチュード	最大震度	市内最大震度
10月23日	17:56	6.8	7 (川口町)	4 (大野町, 一番堀通町, 幸西)
	18:03	6.3	5 強 (小国町ほか)	4 (大野町)
	18:34	6.5	6 強 (小国町ほか)	4 (大野町, 一番堀通町, 幸西)
10月27日	10:40	6.1	6 弱 (入広瀬村ほか)	4 (大野町)

□10月23日(土)

17時56分 2号配備体制(地震発生と同時)

配備人員(22:40現在) 計607人(非常参集33人)(防災課除く)

23時22分 1号配備体制に移行(119箇所の避難所は10月24日午前6時まで開設)

□10月24日(日)

1号配備体制を継続 8:30現在 計125人(防災課除く)

17時00分 1号配備体制解除(防災課での監視体制とした)

(2) 初動・情報

□人的被害: なし(軽症のみ)

□一般住宅被害: なし

□火災: なし

□公共施設被害: 小中学校などで窓ガラスの破損など軽微な被害が発生

□ライフライン: 西堀付近で一時停電(ガス, 水道, 電話被害なし)

(3) 新潟市における各種応急活動の実施状況

避難所の開設と避難状況

□119箇所開設(1支所, 7地区事務所, 9コセン, 8コミハウス, 63小学校, 31中学校)
※避難者を受け入れられるよう上記全施設を避難所として開設

□10/24(日)までに87名の避難者があったが, 10/24午前6:30までに全員帰宅

□10/24(日)午前9:00に2名新規避難者があったが, 16:00までに帰宅

□避難者がいる避難所に毛布, カンパン, スティックパン, 飲料水を支給

(4) 被災自治体への応援活動

□人的支援

	期 間	延人員 (人)
消防局職員	10/23～11/ 8	292
水道局職員	10/24～12/15	513
市民病院医師・看護師等	10/24～11/30	136
一般職員	10/24～ 3/25	2,256
合 計	10/23～ 3/25	3,197

一般職員 内訳	期 間	延人員 (人)
長岡市避難所対応	10/24～12/ 7	691
障害者施設での生活支援業務	11/ 6～11/23	10
被災建築物応急危険度判定	10/26～11/ 5	72
公園被害調査支援	11/19～11/25	30
公園災害査定設計書検査等	1/25～ 1/28	16
空家情報の提供	11/ 1～11/11	9
被災住宅相談窓口業務	11/ 9～11/30	24
仮設応急住宅申請受付業務	11/17～12/25	324
被災者生活支援相談窓口受付案内用務	12/ 9～ 1/14	139
解体家屋処分申請	12/ 4～12/14	43
家屋調査支援業務	11/11～11/18	65
罹災証明発行事務	11/20～11/27	26
家屋被害調査	11/11～12/ 7	40
住宅被災認定調査	11/17～12/13	48
非木造建築物の調査	2/ 8～ 2/ 8	4
被災家屋調査	1/ 5～ 1/21	36
下水道施設被災箇所調査	10/26～12/27	218
道路災害復旧査定設計書作成	12/ 6～ 2/25	125
査定設計書作成	12/ 6～ 3/14	226
公共土木業務災害復旧設計書作成	1/11～ 1/28	20
産業廃棄物関係	2/ 7～ 3/25	37
保健師	10/27～ 1/12	47
薬剤師	10/30～11/ 5	6

□ 救援物資の支援

	10/23	10/24	10/25	10/26	10/27	合 計
毛布 (枚)	4,670	3,160	5,665	1,230		14,725 枚
アルファ米 (食)	8,000	18,150	11,800	2,500		40,450 食
パン (個)		2,600				2,600 個
カンパン (缶)	4,128	2,472	3,480			10,080 缶
おにぎり (個)		250				250 個
スティックパン (袋)	3,700	2,050	3,250			9,000 袋
おかゆ (缶)	1,560	840	1,272			3,672 缶
保存飲料水 (リットル)	3,690	1,950	3,420	8,000		17,060 リットル
簡易トイレ (袋)	20,000			42,600		62,600 袋
哺乳瓶 (本)					760	760 本
哺乳瓶消毒液 (本)					245	245 本
粉ミルク・スティックタイプ (本)					7,840	7,840 本
生理用品					1,368	1,368 袋

□ 震災廃棄物, ゴミ処理

	支援項目	期 間	数 量
長岡市	ごみ収集車の派遣	10/30～11/24	213 台
見附市	可燃ごみの受け入れ	10/29～12/ 8	615.21t
小千谷市	可燃ごみの運搬・受け入れ	11/ 2～12/ 3	612.46t
長岡市	避難所仮設トイレの汲み取り	10/28～11/ 8	24 台

□ 被災者の受入れ

施 設	受入実績
大畑少年センター	3 人 (実人数)
高齢者関係施設	28 人 (実人数)
障害児・者関係施設	3 人 (実人数)
保育園	16 人 (実人数)
市営住宅	8 戸
小学校	3 人 (実人数)
幼稚園	1 人 (実人数)
市民病院	入院 5 人 (実人数) 外来 4 人 (実人数)

(5) 他機関との連携のはかり方

□新潟県中越地震支援対策協議会

- ・11月4日県知事と比較的被害の少なかった県内15市長と7郡の代表町村長との「新潟県中越地震に係る支援会議」を開催
- ・被害の少なかった県内の市町村で更に連携を強化して被災地の復興支援に取り組むことを確認し、「新潟県中越地震支援対策協議会」を設立
- ・新潟市が事務局となり、県の要請を受け、被災地への職員派遣などについて調整を行った

(6) その他、新潟市として取り組んだ活動

□新潟市「中越地震災害」支援対策室

- ・「中越大震災」の情報提供や支援に関する新潟市の相談窓口として開設
- ・10月26日～11月14日 新潟市役所 本館301会議室 時間 8:30～19:00
11月15日～3月21日 防災課執務室で対応 時間 8:30～17:15
- ・問い合わせ状況 740件（主なもの：救援物資に関すること、ボランティアに関すること）

□救援物資の受入れ

- ・10月28日～11月19日 第一分館、支所、地区事務所で受入れ
- ・受入れ実績 287件（主な品目：カップ麺、紙おむつ、タオル、缶詰など）
- ・被災地避難所での物資が十分に確保されたため、支援物資の受入れを11月19日をもって休止。今後も被災地のニーズを把握し、必要に応じて受入れを再開する

□山古志村児童生徒招待

- ・11月20日（土）山古志村小学生82人、中学生33人を新潟市に招待し、マリンピア日本海及びビッグスワンに案内し、イルカショー、アルビレックス新潟戦などを楽しんでもらった

参 考

□ボランティア対応（新潟市社会福祉協議会 新潟市ボランティアセンター）

- ・10月25日災害対策ボランティア受付窓口を設置し、現地状況などの問い合わせやボランティア希望者を登録
- ・10月25日～11月7日市民ボランティアによる炊き出し一日約1,000食を十日町、長岡、小千谷方面に配送
- ・11月6,7日市のバスを利用して川口町にボランティアを派遣

(7) 防災体制の強化

中越大震災を教訓に防災体制を強化

□初動時対応の強化

- ・地震発生直後から下記対応を行うことを徹底
市民等からの情報提供対応、広報活動、避難所開設、避難所の円滑な運営、避難所等との連絡、食糧・毛布などの搬送、仮設便所の手配・配置

□迅速な避難所開設

- ・避難所開設担当として、各避難所付近に居住する職員2名を指名し、施設の鍵を預け、震度4以上の地震で避難所を開設